

# 北海道支部ニュース第41号

日本分析化学会 北海道支部 2010年9月

## 支部長挨拶

日本分析化学会北海道支部長  
伊藤 八十男 (北海道立衛生研究所)

2010年度の北海道支部長を仰せつかりました北海道立衛生研究所の伊藤です。私が支部役員として支部の運営に係わるようになったのは、2000年度の高橋英明支部長のときに会計幹事をお引き受けしたのが最初です。以来まだ10年ほどしか経っておらず、こんな私に支部長が務まるのかと思いつつ5か月が経過しました。たいへん力不足の支部長ですが、どうぞよろしく願い申し上げます。

昨年度は、支部にとって7年に一度の事業である第58年会が北海道大学で開催され、中村博実行委員長長の指揮のもと50数名の実行委員の協力と奮闘により、1,300余名の参加を得て成功裏に終えることができました。全国最小の支部でありながら、その強い団結力が示されたものと思います。

今年度の支部主催・共催事業は、別掲のとおりです。既に緑陰セミナー及び夏季研究発表会については、それぞれ盛会のうちに終了しました。開催にあたりお世話いただきました石坂先生、板橋先生には心より感謝申し上げます。今後、公開セミナー、化学教育研究協議会、氷雪セミナー及び冬



季研究発表会の開催を予定しています。会員各位の積極的な参加をお願いいたします。

2010年7月現在の支部会員数は234名(正会員164、学生会員28、特別会員12、維持会員3、公益会員17、永年会員8、名誉会員2)です。2005年度は297名(正198、学52、特10、維4、公24、永8、名1)でしたので、この5年間で約20%減少しています。学会全体でも現在の総会員数は7272名で、5年間で約1100名減少しました。会費収入の減少により、財政が悪化しており、

2010年度に本部から交付される支部補助金は、前年度比で14%の減となりました。来年度以降も支部交付金減額の可能性は否定できず、これ以上の減額は支部の運営に支障を来すことも考えられます。支部のアクティビティを低下させず、現状の事業を維持していくためには、支部会員の皆様これまで以上のご協力が必要です。今年度の支部幹事は59名、参与は24名で、支部会員の35%に役員として支部の運営に直接携わっていただいています。一方、役員以外の支部会員の方々からは、ご意見やご要望を伺う機会がほとんどなく、広く会員の声を吸い上げ、支部の運営に生かしていくことが今後の課題の一つと思います。支部運営について会員の皆様のご意見、ご要望、ご提案など、支部事務局

(jsac-hb@w9.dion.ne.jp)まで遠慮なくお寄せください。今後の支部の運営に、できる限り反映させていただきます。

最後に、支部にとって嬉しいお知らせがあります。「ぶんせき」誌8月号に掲載されていますが、大澤雅俊先生（北海道大学触媒化学研究センター教授）が2010年度学会賞を、上館民夫先生（北海道大学名誉教授・前北大大学院工学研究科教授）が学会功労賞を受賞されることとなりました。また、笹木章氏（北海道環境科学技術センター）及び佐久間一典氏（日鋼検査サービス）の有功賞受賞も決定しています。これまでのご研究の業績や学会への貢献、実務の功績が認められたものであり、支部会員を代表してお慶び申し上げます。

## これまでの終了行事報告

**第45回氷雪セミナー：**年明け最初の恒例行事である氷雪セミナーが2010年1月9日（土）・10日（日）にかんぼの宿小樽（小樽市朝里川温泉）で行われました。様々な分野から5名の講師の先生をお招きして、以下のような題目で講演をしていただきました：「ナノ金属・合金の水素による機能化」山内美穂先生（北大触媒化学研究センター）、「染色体の端っこテロメア：老化とがん化とのかかわり」村上洋太先生（北大院理学研究院）、「クマの不思議な生態と生理—冬眠と繁殖—」坪田敏男先生（北大院獣医学研究科）、「面不斉の光可逆的制御」玉置信之先生（北大電子科学研究所）、「環境ストレスと癌遺伝子+女性研究者をめぐる環境ストレス」有賀早苗先生（北大院農学研究院）。参加者は37名で、興味深いお話に知

的刺激を受けるとともに、参加者相互の懇親も大いに深めることができました。（北大大学院理学研究院・加藤）

**化学系学協会北海道支部 2010年冬季研究発表会：**1月26日（火）・27日（水）に北海道大学学術交流会館にて開催されました。今年も、これまで同時期開催で行われていた3学協会が融合して、全部で8学協会（日本分析化学会、日本化学会、日本エネルギー学会、石油学会、電気化学会、腐食防食協会、表面技術協会、および触媒学会）の北海道支部の共同開催の形で行われました。口頭発表96件、ポスター発表63件、合計159件の一般公演があり、参加登録者も380名を数える充実した発表会となりました。学生の講演の中から、講演賞6件とポスタ

一賞 5 件が選ばれました。

特別講演では、東北大学多元物質科学研究所の鈴木茂先生に、「酸化還元反応により生成する Fe(II)-Fe(III)系酸化物の構造・状態解析」という題目でご講演頂きました。懇親会は、北海道大学ファカルティハウスエンレイソウで行われました。招待者を含めて約 40 名の出席があり、北海道における化学系の様々な分野の人々との交流が深められました。(北大大学院工学研究院・坂入)

**第 26 回緑陰セミナー**：第 26 回分析化学緑陰セミナーは、7 月 3 日(土)・4 日(日)の両日、札幌市青少年山の家(滝野すずらん公園)にて開催されました。2007 年から始まった九州支部との若手交流も今年で 4 年目を迎え、本年度は九州支部より招待講演者の松井利朗先生(九大院農)の他、北崎博太郎君(九大、M2)、小林優多郎君(九大、M1)の 2 名の学生の参加が有り、参加者数は総勢 59 名(男性 48 名、女性 11 名)でした。第 1 日目に、火原彰秀先生(東大生産研)「マイクロ分析化学～きっかけ・なりゆき・感動～」と、松井利朗先生(九大院農)「ペプチド機能の最前線」、第 2 日目に、三浦篤志先生(台湾国立交通大)「超分子タンパク質を利用したバイオナノコンポ

ジット：合成、物性、分子集合体形成とデバイス応用」、中山 哲先生(北大院理)「理論化学・計算化学とは？—分子科学の視点から—」の計 4 件の招待講演が行われ、活発な議論が行われました。また、第 1 日目の夕方にはポスター発表(発表数 13 件)も行われました。参加者全員による投票の結果、小林優多郎(九大院農)、鈴木誠矢(北見工大)、久保溪女(北大院環境科学院)の 3 名が、優秀ポスター賞に選出され表彰されました。本セミナーの開催にあたりご協力とご理解を賜りました、分析化学会北海道支部ならびに九州支部に深く感謝申し上げます。(北大大学院理学研究院・石坂)

**2010 夏期研究発表会**：2010 夏期研究発表会は日本化学会北海道支部の主催、日本分析化学会、高分子学会、日本エネルギー学会、石油学会、有機合成化学協会各北海道支部、日本セラミックス協会東北・北海道支部、及び、触媒学会北海道地区の共催により 7 月 24 日に函館市の函館工業高等専門学校にて開催されました。117 件の一般講演と 2 件の特別講演が行われました。また、夜には五島軒において懇親会が行われ、異分野の研究者も交えて交流が深められました。(北大大学院水産科学研究所・板橋)

## これからの行事予定

**北海道支部公開セミナー**：来る 11 月 19 日(金)、北見工業大学 E131 講義室(北見市公園町 165)において、公開セミナーが開催されます。九州大学大学院工学研究院の金田隆先生が「レーザーを用いた高性能分離・分析法の開発」、北見工大機器分析セン

ターの天津直史先生が「その場処理を利用した X 線光電子分光による表面反応の精密解析—金属表面の初期酸化挙動を例として—」と題して講演されます。参加費は無料で事前登録も不要です。会員の皆様のご参加をお願い致します。(北見工業大学・南)



第 26 回緑陰セミナー・札幌の様



第 45 回氷雪セミナー・小樽の様

## 平成 22 年度支部役員

支部長	伊藤 八十男	北海道立衛生研究所	事務局 〒060-0819 札幌市北区北 19 条西 12 丁目 北海道立衛生研究所 日本分析化学会北海道支部 支部長 伊藤八十男 TEL : 011-747-2734 FAX : 011-738-5089 E-mail: jsac-hb@w9.dion.ne.jp
副支部長	大澤 雅俊	北大触媒化学研究センター	
	黒澤 隆夫	北海道医療大学薬学部	
庶務幹事	平間 祐志	北海道立衛生研究所	
	中田 耕	北大大学院地球環境科学研究院	
会計幹事	鈴木 智宏	北海道立衛生研究所	
	山田 幸司	北大大学院地球環境科学研究院	
監査	齋藤 健	北大大学院保健科学研究院	
	嶋津 克明	北大大学院地球環境科学研究院	
参与	25名		
幹事	49名		

## 2010 CALENDAR

開催日	事業名	開催地	担当幹事
2010年			
9月中旬予定	2010年度役員候補者選考委員会	札幌	
10月	第2回幹事会	札幌	
11月予定	北海道地区化学教育研究協議会	札幌	福嶋 正巳
11月予定	2010年度公開セミナー	北見	南 尚嗣
11月中旬予定	2011年度学会賞等受賞候補者推薦及び 2010年度北海道分析化学各賞受賞者選考委員会	札幌 札幌	
12月25日	支部ニュース第42号		永洞真一郎 上野 貢生
2011年			
1月上旬予定	第46回冰雪セミナー	未定	森田みゆき
2月初旬予定	化学系学協会北海道支部 2011年冬季研究発表会 (2010年度北海道分析化学各賞授賞式)	札幌 札幌	坂入 正敏
2月下旬予定	審議会(第3回幹事会)	札幌	

## 2009 年度北海道支部会計報告の概要

支 出		収 入	
会議費	270,452	支部費補助金	1,060,750
講演会費	30,000	印税収入	360,404
研究発表会費	280,000	受取利息	626
セミナー費	501,941	雑収入	56,440
書籍出版費	140,100	学会賞推薦委員会	10,000
書籍編集費	25,800	年会収入	1,471,836
印刷費	50,000		
通信運搬費	50,185		
事務・消耗品費	17,637		
人件費	400,000		
OA 管理費	4,788		
北海道分析化学賞等経費	26,590		
学会賞推薦委員会費	11,325		
当期収支差額	1,151,238		
支出合計	1,808,818	収入合計	2,960,056

## 支部会員の欄

この欄では分析化学会北海道支部の転入や転出、新入会など会員に関する情報をお伝えします。次の方々の入会が認められた（「ぶんせき」2010 年 1 月号～6 月号の会報欄掲載分）ほか、転入及び退会の情報をお寄せいただきました。会員に関する情報をお持ちの方は、支部ニュース編集委員までお知らせください。

新入会 大森康弘（(株) データベース）、岡征子（北大創成研）、佐々木祐一（(株) 北興化学工業）、徳光藍（北大創成研）、秋村望（道薬科大薬）、岩見雄人（北見工大院工）、大平恵美（道薬科大薬）、清水理愛（道薬科大薬）、土屋政元（北見工大院工）、大久保隆司、竹内久朋（(株) セロテック）、岩井久典（北大院工）、（以上敬称略、順不同）

## 編集後記

遅ればせながら、支部ニュース第 41 号をお届けいたします。ご執筆頂きました伊藤支部長をはじめ執筆者の皆様には、この場を借りましてお礼申し上げます。編集委員の不手際により発行が遅れましたことを心よりお詫び申し上げます。会員数の減少が懸念される状況でありながらも、若手研究者は研究活動に精進しており、その情熱の結晶ともいべき研究ポスター（緑陰セミナー優秀ポスター賞受賞）を掲載させて頂きました。縮小印刷されているため若干見づらい部分もあろうかと存じますが、皆様の調査・分析・研究の御発展の一助となれば幸いに存じます。

（編集委員：永洞 真一郎、上野 貢生）